



ストップ温暖化！ 目指せ低炭素化

日本は世界に向けて、温室効果ガスを2020年までに1990年比で25%削減を約束



温室効果ガスの9割はCO₂！

地球のため！ごども達のため！

一人ひとりのCO₂を減らなら暮らしを始めよう

今の便利で快適な暮らしは、石油や天然ガスなどの化石燃料を燃やして得られるエネルギーを大量に消費することで支えられています。しかし、一方で地球温暖化の主な原因となっている二酸化炭素を大量に発生させ、大気中の二酸化炭素濃度は200年前と比べおよそ35%増えています。私たちは、将来に健康で快適な暮らしを引き継いでいくため、二酸化炭素などの温室効果ガスの発生を抑えた低炭素社会への転換が求められています。国や市がどのような取り組みを進め、私たち一人ひとりが行う、地球に優しい行動とはどのようなことなのか考えてみましょう。

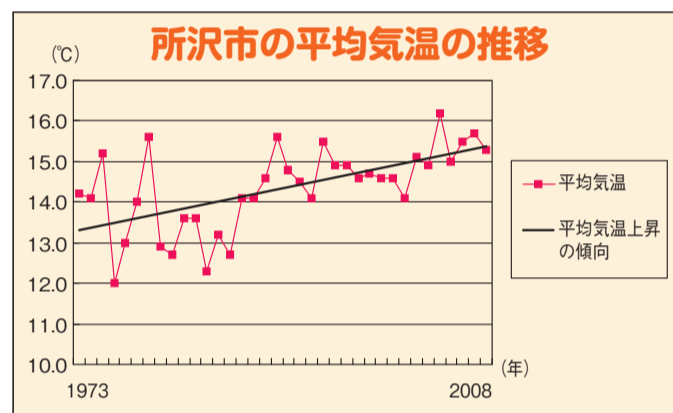
問い合わせ 環境総務課 ☎29998-9133 ☎29998-9394

今年の春は… 例年より気温が低かったけれど

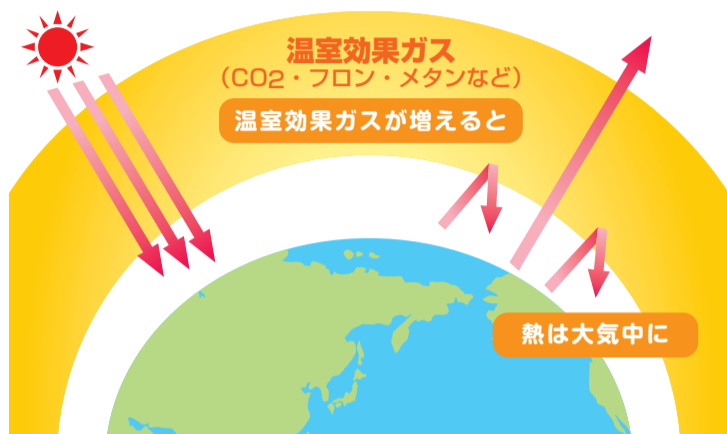
本日に温暖化して5℃

地球の平均気温は、100年間で0.74℃高くなっています。日本の平均気温も100年間でおよそ1℃高くなっています。しかも、上がり方がどんどん早くなっています。所沢市の平均気温も下表のとおり、気温の高い年・低い年とばらつきはありますが、徐々に高くなる傾向にあります。

桜の開花日は50年間で全国平均4.2日早くなりました。カエデの紅葉は50年間で15日以上遅くなり、暖かい地方に生息するナガサキアゲハ(写真下)やツマグロヒヨウモンなどの蝶も所沢市内で見かけるようになりました。



平均気温の上昇は、温暖化やヒートアイランド現象などによって考えられます。



地球温暖化はどのようになっているの？

太陽の光は地球の表面を温めますが、地表に届いた光は最終的には地表の反射やふく射熱として宇宙に放出されます。この熱の一部が大気中にある二酸化炭素などの温室効果ガスが吸収して、さらに地球を温めます。もし温室効果ガスがなかったら地球の平均気温はおおよそマイナス19℃になりますが、温室効果ガスのおかげで、私たちが住みやすいおおよそ14℃に保たれています。

ところが、大気中の温室効果ガス、特に二酸化炭素が急激に増加して、地球の温度が高くなってきています。

地球温暖化対策について

所沢市長 当麻 よし子



地球温暖化は、石油、天然ガスなどの化石燃料を大量に消費し、大気中に二酸化炭素などの温室効果ガスを排出している私たちの暮らし方にも起因しています。

市では、将来にわたり安心して暮らせるまちを目指して、地球温暖化対策などの環境政策を推進しており、現在、今後の市の環境政策の方針をまとめた第2期所沢市環境基本計画の策定を進めています。

策定にあたっての基礎調査の結果では、家庭から排出される温室効果ガスの比率が高いということから、本市では、高効率給湯器などを購入し継続して温暖化を防止する活動を奨励する制度や、住宅用太陽光発電システム導入の補助を行っています。また、家庭や事業所が省エネ行動を1日実践していただく省エネデー、環境講演会など温暖化防止にむけた多くの啓発事業を展開しています。

温暖化対策を積極的に推進するためには、これからも、わたしたちの暮らしを見直し、継続的で実効性のある取り組みを市民、事業者と協働し、温室効果ガスの削減に努めなければなりません。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◆自然エネルギーの利用
太陽の光・風の力・水の流れ・地熱など自然界に存在するエネルギーを利用します。太陽光発電や太陽熱利用、風力発電、小水力発電、バイオマス、地熱など自然環境の中で繰り返し起こる現象からエネルギーを取り出し利用しています。晴天率の高い埼玉県では太陽光の利用が効果的です。

所沢市では、太陽光発電や太陽熱利用に対する補助制度や奨励制度を行い、普及に努めています。

◆ごみの減量・資源化
日常生活や事業活動によって排出されるごみを処理する際にも、温室効果ガスは発生します。そのため、ごみを減らすことや分別したごみを資源化することは、温室効果ガスの削減につながります。

市では、レジ袋削減・マイバッグ推進街頭キャンペーン、生ごみのリサイクルや水切りの啓

◆地産地消の推進
地域で採れた農産物を地域で消費するという「地産地消」は、新鮮でおいしい農産物を食べるということだけでなく、輸送に伴う温室効果ガスも大幅に削減し温暖化防止にもつながります。市では、小・中学校での給食に所沢産野菜を利用したり、ひと目で所沢産農産物と分かるように、特産物である里芋をイメージした所沢農産物消費拡大オリジナルシールを作成し、地元で採れた野菜などに貼付したりするなど、地産地消を積極的に推進しています。

◆エコ・モビリティの推進
エコ・モビリティとは、環境にやさしい移動のあり方を意味する言葉です。過度のマイカー利用を見直し、徒歩や自転車、バスや電車などの公共交通機関を利用し、クルマ依存型のライフスタイルを見直すことです。市では、毎月22日を「エコ・モビリティの日」として、この日を一律100円としています。

◆クールビズ・ウォームビズの推進
冷暖房に使用されるエネルギーを削減するため、暑いときは、外気や緑のカーテンを利用することや、軽装になるなど冷房の使用を控えます。寒いときは1枚多く着て過度の暖房器具の使用に頼らない工夫をします。

市では、冷房時の室温を28℃、暖房時の室温を20℃に設定し、夏はノーネクタイの軽装で勤務をするなど、クールビズ・ウォームビズを心がけています。



低炭素型の社会…？ 難しいことをするのかな？



子ども大人もチャレンジ！

夏の省エネデー

参加方法は簡単です。チェックシートをもとに1日環境のことを考えて過ごすだけです。ぜひ、ご協力ください。

実施期間 7月4日(日)～31日(土)

用紙設置・回収場所 市役所5階環境総務課、公民館、図書館本館、新所沢出張所、男女共同参画推進センターふらっと、消費生活センター、所沢駅サービスコーナー、狭山ヶ丘サービスコーナー、生涯学習推進センター

◎用紙は6月下旬からHPでダウンロードできます。また、市内の小・中学校では、児童・生徒へ直接配布されます。

平成21年度省エネデー(夏・冬)の実績
参加した人数 53,613人
削減したCO₂量 52,547kg
たくさんの方のご協力ありがとうございました。



▲市内で撮影された、ナガサキアゲハ



チャレンジ25キャンペーン

国では「チャレンジ25キャンペーン」において、CO₂削減に向けた具体的な行動「6つのChallenge」を提案し、その実践を広く国民の皆さんに呼びかけています。

- Challenge 1** ●エコな生活スタイルを選択しよう
例えば、クールビズ、ウォームビズ、マイバッグ、… etc.
- Challenge 2** ●省エネ製品を選択しよう
購入時に迷ったときは、より「エネルギー効率の高い製品」を選択！
- Challenge 3** ●自然を利用したエネルギーを選択しよう
自然界に存在する力を利用することは、温暖化をとめる方法の一つです。
- Challenge 4** ●ビル・住宅のエコ化を選択しよう
心地よい快適な空間をつくることですが、実はエコなんでしょう！
- Challenge 5** ●CO₂削減につながる取り組みを応援しよう
CO₂削減につながる、さまざまな社会の取り組みを知ってください。応援してください。
- Challenge 6** ●地域で取り組む温暖化防止活動に参加しよう
仲間や地域の人たちと、温暖化防止にチャレンジ。左ページ夏の省エネデーもその一つです。



所沢市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています